1993年6月30日発行(毎月1回1日発行)増刊号第2巻6号通巻第10号
平成5年2月2日第三種郵便物認可

X-PRESS

CONTENTS

茨城県　村坂圭子さん

事務所

「え…また…？」とお思いの方もいらっしゃるとは思いますが（笑）、またまたファンクラブがお引越です。新しい住所は

〒153 東京都目黒区上目黒３－２－２フジビル７Ｆ
（株）エクセス２４内　Ｘ FAN CLUB

７月１日からの郵便物はこちらの住所へお願いします。（ファンレター・メンバー宛のプレゼント・ファンクラブへのお便り等）
そして、電話番号も変わります。新しい番号は

０３－３７９４－６９００
（月～金・午後１時～午後６時まで問い合わせ受付／時間外はテープでインフォメーションを流しています。）

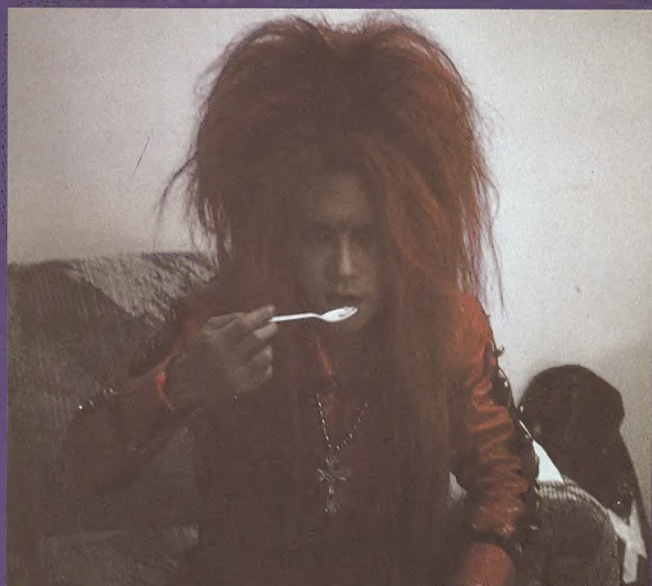
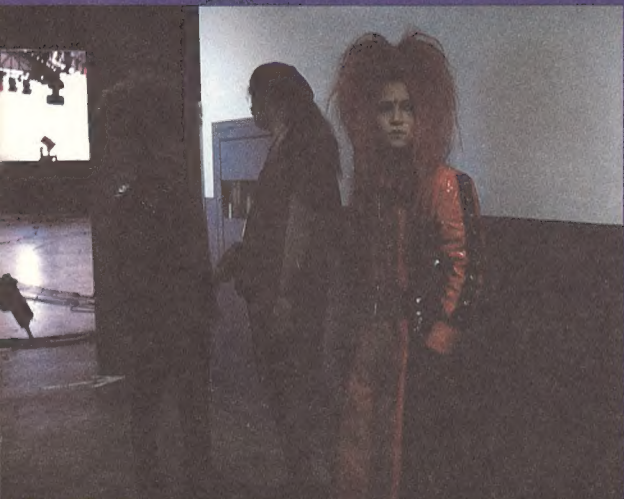
０３－３７９４－６９１９
（テープでのインフォメーションのみ）

テープでのスケジュールは、新しい情報が入ったら入れ替えます。
要するに、お問い合わせのある方は平日の13：00から18：00の間に、スケジュールなどが知りたい方は時間外にかけるか、テープでのインフォメーションのみの電話番号にかけて下さいという事です。
前回に移転した時もそうでしたが、間違い電話が一般のお宅にかかって大変御迷惑をかけてしまった事がありました。今度の新しい電話番号でもこの様な事が無いように、正確にゆっくりとかける様にして下さい。

at Long Beach Arena

7月1日からいよいよ始まる「X FILM GIGS 1993」。その収録がアメリカはロスアンジェルスで行なわれるというので、2度目の海外取材（！）へ行ってまいりました。昼に日本を出発、LA到着は現地の早朝。飛行時間は約9時間なので、何が何でも飛行機の中で眠らないと大変な時差ボケとなってしまうワケです。見事に一睡も出来なかったFCは（笑）ロスアンジェルス国際空港に差し込む朝のまばゆい陽の光に目がくらみ、ついでに頭もくらくらしてしまったのでした。空港には現地のスタッフが迎えに来てくれています。ヘアメイクの方、スタイリストさん、カメラマンの方…などと一緒の移動だったので、たくさんの荷物と共にバンでフリーウェイを走り、宿泊先へ向かいます。今回の会場は地元でもかなり有名な「LONG BEACH ARENA」。ホテルはそのすぐそばにあります。部屋に入り、カーテンを開けると見える大きな丸い建物。壁のほぼ全面にとてもきれいな魚のイラストが施されています。（実はこれが「LONG BEACH ARENAだった）その向こうにはゆるやかな海岸線と、それにそって植えられている緑の木々。空は真青。これから仕事を始めようとしている、黒人の人達。「あぁ、アメリカだ…」と思っている内に、気を失う様に深い眠りに入ってしまったFCでした（笑）。その日の夕方、日本からやって来ていた、たくさんの取材人やカメラマンに向けて、収録時の諸注意やタイムスケジュールなどに関するミーティングが行なわれました。こちらではSecurity（警備）も大変厳しく、取材といえどもパスなどはしっかり携帯していないと中へ入れてもらえません。細部に渡って綿密に打ち合わせが行なわれます。時差ボケているヒマなどないのです。明日に向けての静かな緊張感がスタッフや取材人を包みます…。

午前8時。快晴。歩いて会場へ向かいます。朝なのに陽差しが強い。その割には空気が乾いているので、とてもサワヤカです。会場入口には大きな体のSecurity。見るからに怖そうです。昨晩受け取っていたパスを恐る恐る見せると、ニッコリ笑って通してくれました。第一関門突破！（笑）中へ入ると…。すでに組まれているステージ・セットがとても美しく、YOSHIKIのクリスタルのドラムセットが、丁度チェックが行なわれていた照明に反射して、さらに美しく輝いています。あそこに今日、YOSHIKIが座るのです。そして、新メンバー、HEATHを加えた4人がその前部に並んで…「ENDLESS RAIN」が、「紅」が、そして「X」が演奏される！スタッフや取材人、みんなが同じ思いで、あのステージをまず見つめたと思うのです…。楽屋へ通じる通路への入口にはまたもやSecurity。パスを見せて、第二関門突破！（笑）ラジオでも言ってましたが、「世界中どこへ行っても一番のり」のHIDE（笑）。すでに楽屋に入っているとの事です。荷物を置き、もう一度ステージを見に行こうとすると、おや、HEATHも会場入りしていたんですね。向こうからさっそうと歩いてきました。バイクに乗るシーンを撮ったらしく、ニコニコ顔です。こっちで本場のバイクを借りて撮影されたらしく、HEATH「バイクを貸してくれた人が凄いおっかないんだよー。低い声で『Hi』ってあいさつするんだけど、むちゃむちゃ怖いんだよ、迫力があって。」アメリカ本場のバイカー（ハーレーダヴィッドソンなどのでっかいバイクを乗り回している人達）ですものね。

楽屋の裏には食事の用意が出来ています。ソーセージや何種類ものパン、カリカリのベーコン…ドリンクはコーラ、コーヒーなどで、まさにアメリカンテイスト（？）といった感じです。そこは広い通路になっているので、スタッフも集まり易く、日米入り乱れて和気合い合いと食事しています。何だか通路の奥の方がニギヤカなので様子を見に行くと、HEATHがXスタッフのA氏に体当たりしたりしています。（このA氏、体がアメリカ並に大きい）きゃしゃなHEATHは跳ね飛ばされてしまいます（笑）。HEATH「うあー、これは勝てんわー

(笑)」ＰＡＴＡも「ういーっす」と会場入り。おなじみ、フジテレビの東海林のり子さんもテレビ局の方々と会場入りします。東海林さん「なんだかドキドキしちゃうわねぇ」と、とても嬉しそう。なんだかお母さんみたいな方です（スミマセン)。ＹＯＳＨＩＫＩ、ＴＯＳＨＩ、と、どんどん会場入り。入る時からビデオも回っています。映ってしまってはイケナイので、まるで隠れる様に影から見るファンクラブ。２人共元気そうです。そして、ＴＯＳＨＩもＹＯＳＨＩＫＩも会場に入るとすぐにぐるりと全体を見回しています。これで全員揃った！と、ＴＯＳＨＩやスタッフの後について楽屋の方へカメラを持って行こうとすると、ぽんぽんと肩を叩かれ…振り返るとそこにはまたまたＳｅｃｕｒｉｔｙが！！あぁ…（笑)。何か一生懸命私に聞いてきたのですが、わからないものはわからないので「Ｙｅｓ！」と元気良く答えてみると、ニッコリ笑って「ＯＫ！！」と言って通してくれました。(それからはなぜかとても親切にしてくれる様になった）みなさんが海外へ行く事になった時は、こんな事絶対にしてはいけません（笑)。ちゃんと英語は勉強しましょう。そんな事はともかく、ＨＥＡＴＨ、ＰＡＴＡの楽屋におじゃまします。ＰＡＴＡのＣＤケースにはしっかり「東京ヤンキース」のＣＤが。ＰＡＴＡ「(東京ヤンキースの）ツアーに行った時に曲を覚える為もあってね（笑)」その内、楽屋内に響くレッドツェッペリンの曲…。ＨＥＡＴＨは「髪を少し切ってもらおうかな」とメイクさんに要請。臨時美容院に早変わりです。さて、ＨＩＤＥはもくもくとメイク中、のはずが…。「どォも！！」大きな声で楽屋にやってきたのは、あのＳｃｒｅａｍｉｎｇ　Ｍａｄ　Ｇｅｏｒｇｅさんでした。ＨＩＤＥ「どこかで聞いた事のある笑い声だと思ったらーもうー(笑)」またまたＧｅｏｒｇｅさん製作の新作（？）不気味オブジェの写真（スミマセン）を見ながら大盛り上がり。ＨＩＤＥ「うあー、すんげー、うひゃー」メイクは一時中断（笑)。とはいっても、殆ど出来上がっていたのでしばし休憩。衣装をスタイリストさんと合わせながら「うーん…ベルトがなぁ…」「こっちは？どうでしょう？」「あ、うん。いいかな？」とやりとり。ＯＫになると、とととと…と楽屋隅に行って自分でウーロン茶をついでいるＨＩＤＥちゃん。あの髪形、赤い衣装にウーロン茶のペットボトルがミスマッチです（笑)。たくさんのＣＤケースの中から取り出したのは「BUTTHOLE SURFERS」。お気に入りなのでしょうか、聞きながらタバコをくゆらせ、しばしボーッとしています。さぁ、ＨＥＡＴＨの髪形はどうなったでしょうか？おぉー、さすが、キレイな髪です。少し切っただけでもずいぶん感じが変わります。フジテレビの方が来て、おなじみ「おはようナイスデイ」の収録が始まります。まずはＴＯＳＨＩ、ＰＡＴＡのコンビから。相変らず（？）なめらかな口調のＴＯＳＨＩ。ＴＯＳＨＩもなんだか髪のコンディションが良さそう。ＨＥＡＴＨを見てみんな実は一生懸命、家でトリートメントしてたりして（笑)。ＴＯＳＨＩって不思議とソロの時よりもＸになると顔つきがワイルドな男っぽい感じになる様な気がするのは気のせいでしょうか？実は密かに（？）名コンビのこの２人。ＰＡＴＡのスルドいツッコミとＴＯＳＨＩの困った様な、それでいて嬉しそうな（笑）口調がおかしくて、そこにいたスタッフはみんな爆笑の渦。詳しくは「おはようナイスデイ」で…。見逃さないようにね。ＴＯＳＨＩ、ＰＡＴＡが終わると今度はＨＩＤＥ、ＨＥＡＴＨの番です。髪の感じが変わったＨＥＡＴＨを見てＨＩＤＥ「おぉー。切ったねぇ。」照れ臭そうなＨＥＡＴＨ。収録に入ると、ＨＥＡＴＨのインタビュー中、終始ニコニコして、まるでＨＥＡＴＨを見守っているかの様なＨＩＤＥ。お兄さんかお父さんみたい（スミマセン）です。両手をしっかり握ってゆっくりと穏やかに関西弁で話すＨＥＡＴＨ。こんなに話した所を見るのは初めてのファンの方も多いでしょうから、オンエアされたらきっとみんな喜ぶだろうな…なんて思っていると、いつのまにかなんだかんだで結構笑いをとっておりますＨＩＤＥ（笑)。またも爆笑の渦になってしまう収録スタジオ代わりの楽屋。「Ｘってこんなにおもしろい人ばっ

かりだったんですね（笑）」とスタッフの方。そうか…おもしろい人ばっかりだったのかぁ（納得しちゃいけませんよねぇ）。そして、YOSHIKIの収録です。スタッフの方みんなに丁寧にあいさつをして、ゆっくりと優しく話します。東海林さんや、回りのスタッフなどに気を使いつつも、一言一言、力強く答えてゆきます。さんざん爆笑していたスタッフが今度はなんだか優しい雰囲気に包まれています…。とにかく、是非オンエアを見て下さい…。収録が終わると、東海林さんとHIDEは並んで写真を撮ったりしています。収録がすんで後はステージまで一休み、のPATA、HEATHの楽屋。ここはいつも何だか不思議とホノボノしています。何を2人で話しているのかと思いきや、やっぱり（笑）ファミコンの話。PATA「オレはファミコン関係に3社位知り合いがいるから、コネあるぞ、コネ」HEATH「ソフトガもらえるッ」（笑）さて、ここまででTOSHIとYOSHIKIは楽屋でどうしてるの？と思っているみなさん。TOSHIはボーカルという事もあって、精神を集中していたり…YOSHIKIは体の調整をしていたりでホントに大変なのです。あれだけのハードなライブですものね。だからずけずけと楽屋に入っていくのはちょっと遠慮したいのです。許して下さいね。（でもスタッフに止められているファンクラブを見ると「いいよいいよ」と言ってくれる優しい2人だという事はわかっているのですが…）HIDEはすっかり準備が整い、くつろぎタイム。そこへひょっこりやってきたのはPATA。HIDEの横にイスを持ってきてちょこんと座り、曲順表を見ながら2人で何やら楽しそうに雑談したりしてます。しばらくして「はっ」と気が付いた様にPATAを見たHIDE「あんた、そういえば早く着替えなさいよっ」（この時点でなんとまだPATAは普段着だった（笑））PATA「エエエー」HIDE「いいから早く

しなさいっ」PATA「だってよぉーブツブツ」HIDE「まったくもうっ（笑）ただのオヤジじゃないんだからっ（笑）」これでやっとPATAは着替えに入ったのでした。（笑）やっぱりこの2人のギターコンビは永遠に不滅ですネ。ところで、こっち（アメリカ）に愛猫を連れてきているPATAのネコエサが入っている袋を持っていたスタッフに、突然飛びついてきたHEATH「なにっ？お菓子？！…じゃなかったか…（とがっくり）」チョコレートでも入っているのかと思ったんでしょうか（笑）。さて、いよいよ本領発揮。監督が合図で各楽屋を回り始めると、収録の始まりです。…

まるで、本番さながらのライブの様です。ステージへ向かう楽屋からの通路では、ディレクターの後藤氏をはさんでTOSHIとHIDEが並んでいます。TOSHIの衣装をまじまじと見てHIDE「ロングビーチアリイーナー」と（ここでは表現しにくいのですが）後ろからかかえる様にしてちょっかいを出してみたりして（笑）います。なんだか照れ臭いような、ドキドキするような、それでいて嬉しいような…こんなほのぼのとした中にも、スタッフからもメンバーからも、緊張…というよりは絶対にいいものが出来るはずだ！という気合いのようなものが感じられます。PATA、HEATHもコンビネーションはバッチリ！といった感じですっかりミュージシャンの表情です。そして…ゆくりとYOSHIKIがやってきます。ニコッとするとさぁ、ステージへ！

「WORLD ANTHEM」は、もう、殆どX登場のテーマ曲となってしまいました。この曲が聞こえてくると、わけもなくドキドキしてしまうものです。みんなもそうだよね…？既にカメラはどんどん回っています。一人一人の名前が会場中にこだまし、YOSHIKIがスティックを「X」の形に高くあげる…。5人いる！確かに5人いる！何故、この5人はこんなに凄いんでしょうか？TOSHIがまるで何万もの観客がそこにいるかのように叫ぶと、本当に歓声が聞こえてきそうです。いいえ、今、5人の目にはたくさんのみんなの姿がそこに見えるのでしょうね。1曲終わると、後藤氏の声。「みんな、頑張って！気合い入れていこう！…Action！」「Miscast」です。HEATH、走る、走る！右から左へダッシュ！いつもレコーディングの仕事を現地でしていて、生の「X」のライブを見た事がなかったスタッ

フ「かっこいい…凄いや…」「ＨＩＤＥさんかっこいい！目がくぎづけだよ」「ＹＯＳＨＩＫＩさんもハンパじゃない…凄い」と口々に言っています。曲が終わると「Ｙｅａｈ！！」外人スタッフからも声がとびます。曲が終わるごとにスタッフにあおいでもらっているＨＩＤＥ。ステージ上はもの凄く暑そうです。ドラムの前に立ったＹＯＳＨＩＫＩ、体をぐっと曲げたり伸ばしたり…。「Ｓｔａｎｄｉｎｇ　Ｓｅｘ」や「Ｗｅｅｋ　Ｅｎｄ」の様なハードな曲がどんどん続きます。後藤氏「よっちゃん、頑張って！」こっくりと力強くうなずくＹＯＳＨＩＫＩ…。

前日に説明があった様に、ビデオが今回はかなり大掛かりな事も合って、スタッフが見きれる事が無いように充分注意してステージを見なければなりません。ファンクラブは最初、衣装

などを途中で直さなければならないような時の為にスタンバイしているスタイリストさんや、楽器スタッフらのいるステージ脇から見ていたのですが、スタンドの方へ上がっても大丈夫、との事らしいのでそちらへ移動します。Ｍａｄ Ｇｅｏｒｇｅさんや、外人のギャラリーの方がたくさんいらっしゃいます。（Ｇｅｏｒｇｅさんが曲に合わせてのっているの私は見逃さなかったゾ（笑））なにぶん会場が広いので、マイクで指示を出すディレクターの後藤氏。「Ｆｉｖｅ、Ｆｏｕｒ、Ｔｈｒｅｅ、Ｔｗｏ、Ｏｎｅ、…Ｇｏ！」…「Ｓａｄｉｓｔｉｃ　Ｄｅｓｉｒｅ」。ＨＩＤＥのいつもの（？）狂声（？？）が冴え渡ります。くいいる様にステージを見つめるすべてのスタッフ達。今度ばかりは曲が終わるとドラムセットの後部に横になるＹＯＳＨＩＫＩ。心配そうなＴＯＳＨＩ。「もしかしたら曲的に言っても普段のライブよりかなりハードかもしれない」と、スタッフ。そういえばそうです…。一旦衣装を直す事と、カメラのスタンバイもあって休憩です。楽屋に戻るメンバー。ＴＯＳＨＩは髪を直している間、大きく深呼吸。唇をかたく結んで、キッと鏡を見つめています。ＨＩＤＥは用意されたサラダを一口ぱく…。今日は殆ど食事らしい食事をとっていないのではないでしょうか？ＨＥＡＴＨは「お菓子…食べたいな…」とぽつり。まだ言ってる…（笑）。

今回はビデオの関係上、立て続けに撮るのではなく、インターバルをおきながら収録されました。曲間に楽屋に戻ってくるメンバーは誰もが汗だくです。ＨＩＤＥ「涼しい衣装に着替えちゃおうかな…暑さに耐えられない様な気がしてきた」ＹＯＳＨＩＫＩは鏡の前に座って、しばしボウ然…。スタッフが「半分終わりましたよ」というと、「えっ！まだ半分しか終わってないんだ！？」首が痛そうです。「明日病院かなぁ…」とつぶやいています…。

次はいよいよ「Ａｒｔ　Ｏｆ　Ｌｉｆｅ」です。これは凄くスタッフ共々印象に残ったようです。Ｘの代表曲のひとつに加わる曲になるのでしょうね。…時々ふっと空を見上げるかのように上方を向くＴＯＳＨＩ。美しいストリングスの音色。ＹＯＳＨＩＫＩが立ち上がります。髪がドラムセットの後ろにある小型のファン（扇風機）の風にゆらされてなびきます。じっとギターを見て確実にメロディーを泳がせてゆくＰＡＴＡ。キッと視線をまっすぐに向けるＨＥＡＴＨ。時折、狂った様に衣装のスソをひるがえしながら足でリズムをとり、ギターを操って行くＨＩＤＥ。…なんだか、すべてがきれいな一枚の絵の様です。

後藤氏「頑張ろう、みんな！」さぁ、後半です。「次、紅です」ステージでは既にＰＡＴＡ、ＨＥＡＴＨがスタンバイしてＨＩＤＥサイドを見ています。ＹＯＳＨＩＫＩが軽くドラムを叩き、ＴＯＳＨＩは肩を回して体をならし、ＨＩＤＥはギターに手を添えてじっと４人を見る…。以前、ファンクラブにお便りをくれた女の子で、「他の曲では絶対泣かない様にしているけれど、「紅」だけはどうしてもなぜか泣いてしまい、せっかくのステージが見えなくなっちゃうんです」というのがありました。それがわかる様な気がします。なんだか切ない歌、メロディーなんですよね…。カウントが入り、ＨＩＤＥのあのギターのメロディーが流れて…「紅だー！！」

もの凄い特効の炎がステージ横から上がる！ひえええええ！び、びっくりした…。ステージは紅色、いいえ、建物中が紅色に染まります。よってきたカメラに積極的にアプローチしていくHEATH。そういえば先程の「ナイスデイ」の収録の時にHEATH「緊張しています」HIDE「どこがっ（笑）」という会話があったなぁ…と思い出してしまいました。HIDEの言う通りだと思います（笑）。「オルガスム」。ステージ上でミネラルウォーター片手に、スタッフと汗だくで打ち合わせする真剣なまなざしのYOSHIKI。よし、と気合いをいれるかのように大きく息を吸い込んで胸に手をあてるTOSHI。…「Go！」もの凄い照明の光の渦の中、音がまさに爆発します。もう、観客のごとく、ステージにくぎずけの外人スタッフ達。めいっぱいにTOSHIが叫び、走り、HIDEは今にもステージ下に落ちてきそうな勢いです。まるで「ハイ、ここで！」と決まっていたかの様にぱっと2人で前へと出てくる、息の合った所をみせるPATAとHEATH。YOSHIKIには全く「手抜き」なんていう文字はありません。広いロングビーチアリーナの会場中が、もの凄い熱気に包まれてしまい、「ヒューヒュー」の声も…。凄い…。VTRのモニターの所にいたアメリカ人スタッフ2人は、思わず立ち上がって、笑顔で片手をお互いにパン！コーフンして何か英語でまくしたてています。素晴らしい映像も撮る事が出来たんでしょうね。…

最後のインターバル。HIDE「今何時っすかぁ」スタッフ「11時15分です」HIDE「ひいいえええー」（笑）。PATAとHEATHの楽屋では、PATA「（Hの方を向いて）オマエ、さっきオレがオマエの所に寄ってったら、オレの事避けただろォォッ」HEATH「エ、ち、ち、ちがうちがう、あれはさ…」PATA「避けられたぁー、クソーっとか思ってよォォ」HEATH「ち、ちがうよ、そんな事ないってェ」PATA「だってよォォ」と2人。付き合って間もない高校生のカップルみたい（それは失礼ですね、ゴメンナサイ）と思ってしまいました（笑）。TOSHIは最後の2曲も気合い入れるぞ、と声が聞こえてきそうな位真剣なまなざしでメイクを直してもらっています…と思ったら、カメラに向かって「ニヤッ…」とまさにニヒルな（笑）笑顔。余裕ですよ、もう（笑）。ステージ袖に集まったメンバー。PATAはいくつものギターケースを開けて広げて「次はどれ使おうかなー」と楽しそう（笑）。しかし、やってきたYOSHIKIを見つけると、「YOSHIKI、YOSHIKI！オレにさっきスティック投げただろォォ」YOSHIKI「（ビックリして）エッ！あたった？！あたっちゃった！？ゴメン！！そんなつもりは…」PATA「オレの方に向かって飛んできたぞォー」YOSHIKI「ゴメン！ゴメンね。…大丈夫だった？！」PATAちゃんのこのツッコミは愛情表現のひとつだという事がわかりました（笑）。さっそうとやってきたTOSHIは親指を立てて「バッチグー」のポーズ。「足の爪がはがれちゃったよ…」と、痛そうなHEATHを心配そうにしています。結局テレキャスター（というギター）を使う事に決まったらしいPATA。キースリチャーズ（ローリングストーンズのギタリスト。この人もテレ

キャスターを使っている）の真似をしたりしています。と、HIDEが側にやってきて、2人でキースの真似をしています（笑）。ステージに上がるまでは足を軽くひきずっていたHEATHですが、ステージに上がってしまえば、もう、そんな事全く感じさせません。「ラストスパート！」「JOKER」が始まります。あっ！本物の風船が飛んできた！ちゃんと用意されていたんですね。大きな大きな風船が舞って、その向こうにはたくさんのX-KIDSが見える様です。体が自然に動いているスタッフ。「X！」ライブさながら水を頭からかぶるYOSHIKI。ここまでくると、「収録」という決まったワクなんか意識からはずれてしまいます。ステージ上に転がってもまだマイクを離さなずに叫び続けるTOSHI。激しくギターを操りながら、左から右へ、右から左へ、と走りまく

るＨＩＤＥ。時折笑顔を見せながら、日本にいるＫＩＤＳ達にアプローチするかの様なＰＡＴＡとＨＥＡＴＨ。表情が見えない位、ドラムにくらいついてゆくかの様に力強くリズムを叩き出すＹＯＳＨＩＫＩ。…大きな最後の特効の後、「カーテンコール！」という声が上がり、ステージ前方に５人で手をつないで出てくる「Ｘ」。…

今回の収録の中では、もちろん「Ｅｎｄｌｅｓｓ　Ｒａｉｎ」も収録されました。一旦パッと照明が消え、数秒後にステージがパッと明るくなると、クリスタルのグランドピアノの前にＹＯＳＨＩＫＩがいました。そこで曲が静かに始まります。ＴＯＳＨＩとＹＯＳＨＩＫＩにスポットライトがあたります。ビデオに映らないようにスタンド席にいた時なのですが、後方で取材のカメラのシャッター音がまるで観客の声援や、泣きながら歌っている声みたいに聞こえてきてしまいました。オーディエンスが一人もいないこの遥か遠い海の向こうの会場の中で、「Ｘ」が確かに演奏しています。静かに、ゆっくりと、でも力強く生きています。ガランとしているこのアリーナの座席すべてを、きっと近い将来、多くのＸ－ＫＩＤＳが埋め尽くして、熱気で熱くなってしまう光景を夢みて…。

何だか殆ど寝ていなかった事などすっかり忘れてしまっていた取材でした。元気とパワーをくれた「Ｘ」に感謝！そして、７月からは全国のみんなが元気をもらって下さい。必ずもらえるはずです！ＴＯＳＨＩの、ＰＡＴＡの、ＨＥＡＴＨの、ＨＩＤＥの、そしてＹＯＳＨＩＫＩの…、とびっきりの笑顔と、熱気と、感動がフイルムにめいっぱい収められています！！ＦＩＬＭ　ＧＩＧ、楽しみにしていて下さいね！！

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

こぼれ話その１／メンバーのメイク中に、カメラリハーサル用にと結成された「イミテーションＸ」。メンバーはスタッフの若い衆５人。最初、ＹＯＳＨＩＫＩの代わりとなるはずだったスタッフＡ氏。本編でも書いた様に、体が物凄く大きい。（横も縦も（笑））それで「サイズが合わない」との事で却下となった（笑）。

こぼれ話その２／ＹＯＳＨＩＫＩはこちらのスタッフともスラスラと英語で会話。何を話していたのかレポート出来ないファンクラブは自分が恥ずかしくなってしまいました。勉強します…。マジで…。

こぼれ話その３／怖い、怖いとファンクラブが恐れていたアメリカ人Ｓｅｃｕｒｉｔｙ（警備）と、アメリカ人スタッフの方々。でも実は大変優しくて、食事の時に「これも食え」「これも食ってみろ、うまいぞー（とたぶん言ってたんだと思う）」と「こんなに食べられないよぅぅぅ」という位おかずをすすめてくれたりしました。（みんな食べる量がハンパじゃなかった）そして、空き時間にはバスケットボールをやっていました。うーん、アメリカ…（笑）。

こぼれ話その４／取材の合間に「ちょっとちょっと」とＰＡＴＡが呼ぶのでなにかと思ったら、置いてあったギターを指差してＰＡＴＡ「これ撮って」。ＦＣ「？？ギターを、ですか？？？」ＰＡＴＡ「そう」ＦＣ「はぁ」ＰＡＴＡ「それでその写真１枚ちょうだい」そのギター、ＰＡＴＡの知人のギターコレクターの方のギターだという事で、凄いギターらしいのです。ＰＡＴＡ「キレイに撮れよ」ＦＣ「そんなに凄いギターなんですか」ＰＡＴＡ「そうだな、これ１本で外車が１台は買えるな」ＦＣ「へー外車が１台ですか。…えっ！！？外車が１台買える？！」なんともＰＡＴＡちゃんらしいエピソードでした。

こぼれ話その５／この収録当日の照明、舞台スタッフの方々は、「ＬＳＤ」（怖い名前ですねぇ）という所が担当しました。「ＬＳＤ」とは「ＬＩＧＨＴ＆ＳＯＵＮＤ　ＤＥＳＩＧＮ」という事で、ウルトラ有名な舞台監督さんもスタッフとして加わっていました。（ＭＯＴＬＥＹ　ＣＲＵＥ、ＢＯＮ　ＪＯＶＩなどを担当）照明はなんとＰＡＴＡやＨＩＤＥも舞台袖で真似をしていた（笑）ＫＥＩＴＨ　ＲＩＣＨＡＲＤＳのいる、ＲＯＬＬＩＮＧ　ＳＴＯＮＥＳのアメリカンツアーを担当していたスタッフなど、もの凄いスタッフばかりなのです。これらのもの凄いスタッフを抱えているこの会社、来月は３０本ものツアーを抱えているとか…。す、凄すぎる…。

松本氏 今月の一枚

御元気ですか？御無沙汰しておりますが、そろそろＦＩＬＭ ＧＩＧＳも開始して、御覧になった方もいらっしゃると思いますが…ＦＩＬＭ　ＧＩＧＳといえば、今、ＬＡＷＳＯＮに行くと「Ａｒｔ　ｏｆ　Ｌｉｆｅ」とか、かかってんだよね。私はコンビニ好きなので、ＬＡＷＳＯＮによく行くけど、どーもＸの曲とかかかってると、自分のＧｕｉｔａｒが気になって買い物に集中できないのよね。そんで曲が終わってレジに持っていくと、まったくいらん物がたくさん入っているという…。そんで、８００円以上買ってＦＩＬＭ　ＧＩＧＳの応募券をもらってしまうという…複雑である…。
そーんなこんなで、私も遅ればせながらＳｏｌｏ　Ｄｅｂｕｔってもんで、Ｘと並行してＲｅｃｏｒｄｉｎｇをずっとやってたんですけど、とりあえず８／５に２枚同時シングルってのが出るんでよろしくね。なんせ生まれて初めて”お歌”っていうモンをＲｅｃｏｒｄｉｎｇしたもので、最初はスゲェ緊張したわな。一応、師匠ＴＯＳＨＩ師のアドバイスを受け、少しは気が楽になったりもして。飲み屋のカラオケ気分で飲んで歌う訳にもいかんしねぇ。まぁ、様々な葛藤の中、出来上がりましたんで…聴いてやってちょうだい。
今年はいよいよＸ様が動き出すからねぇ。ソロもあるけど、メインはＸだからね。私も気合い入れんと。しばらくステージにも立ってないから、かなりグータラな酒野郎！になってたからね。君らも”鬼のいぬ間の”ＦＩＬＭ　ＧＩＧＳで予行演習さんざんやっとけよ。君らは忘れてても、まぁ、無理矢理思い出させてあげるけどね。
今回は私、疲労困憊の為…とても短いけど、この辺で…。
Ｘ…　Ｘ月Ｘ日　大復活！！

Hideちゃん Solo情報

８月５日、ついにＨＩＤＥのソロがダブルシングルとして（２枚同時）ビクターより発売になります。
タイトルは１枚が「ＥＹＥＳ　ＬＯＶＥ　ＹＯＵ」「ＯＢＬＡＡＴ」もう１枚は「５０％＆５０％」「ＤＯＵＢＴ」。
一足早く６／１３の原宿表参道ではその「ＥＹＥＳ　ＬＯＶＥ　ＹＯＵ」がファンみんなの前でオヒロメになったわけですが、そのプロモーションビデオではなんと１１人のＨＩＤＥちゃんが共演（！？）。（そのＳｈｏｏｔｉｎｇの様子は次号会報にてレポート）ＸのＨＩＤＥとはまた一味違ったＨＩＤＥが、この２枚のシングルＣＤにめいっぱいつまっております。是非お聞き逃しの無い様に！
そして、既に見かけた方もいらっしゃると思いますが、全国レコード店に現在貼り出されているビッグなＨＩＤＥのポスターは「３Ｄステレオグラム方式」といって、ピンに入っているＨＩＤＥちゃんの回りの部分をじっ…と見つめてから（ＨＩＤＥちゃんを見つめてもダメよ（笑））ゆっくりポスターから遠ざかると、ある物体が立体に浮き上がって見えてくるのであります。そのある物体とは何か、をあてると、特製Ｔシャツがもらえちゃうという…そんなＨＩＤＥちゃんらしい（？！）キャンペーンもやってます。応募方法などの詳細はレコード屋さんに聞いて下さいね。ちなみにファンクラブは２人ともやってみたけれど、目がよってしまって何も見えなかった…（笑）。みんなガンバレ！レコード屋さんへＧｏ！

雨降り表参道レポート

All Photo:辻 砂織

6月13日、日曜日。この日は何日も前から雨が降るだろうと天気予報でいわれていました。いざ、朝起きると、幸い雨は降っていないものの…曇り空。これならＨＩＤＥのイベントが開催出来るかもしれない…。

この日は、まず午後5時に表参道と明治通りの交差点にある大きなスクリーンに、ＨＩＤＥとMCAビクターとのソロ契約が発表になり、8／5に2枚同時に発売となるシングルのうちの1つ「ＥＹＥＳ　ＬＯＶＥ　ＹＯＵ」のプロモーションビデオが流されて、5：30から行なわれるイベントの場所の地図が最後に映し出される…という予定だったのです。（このイベントとは、この交差点に近いホコ天（歩行者天国）で、ＨＩＤＥ本人が4トントラックに乗り込んで新曲のライブパフォーマンスを行なう、というものだった）しかし、ファンクラブのインフォメーションテープでも告知した様に、これはあくまでも当日のホコ天が雨で解除されなければ…ということだったので、この梅雨時の6月、中止になる可能性もあったわけなのですが…。

結局は傘を持たずに家を出たM3号。4：30すぎに原宿に到着するとすでに雨。事務所スタッフは「2：00頃、既にコスプレをした子がもうかなりいましたよ」と言っています。表参道を早歩きで交差点に向かうと、スクリーンの下あたりはカラフルな傘で埋め尽くされています。とりあえず近くまで行ってみると、ラフォーレ原宿（原宿でも有名なファッションビル）の前、角の露店の周り、スクリーンの下、横断歩道にまでもの凄くたくさんの人があふれている！まだ5：00前なのに、「ＨＩＤＥー！」と叫んでいる子が殆ど。傘をさしていない人も多いです…。いよいよ数分前になって、スクリーンの画面が変わる度に（始まる直前まで関係無い普通のコマーシャルが流れていた）「キャー」という歓声が上がり、ＨＩＤＥのビデオじゃない事に気付くと「あー」という残念そうな声がわき起こります。この人だかりとこの歓声、当然「何事？」と一般の買い物客も足を止めてスクリーンに注目しています。午後5時。「ＨＩＤＥソロデビュー決定！」の文字が映し出されると、もの凄い歓声と拍手がまきおこります。その後に、不思議な情景の中にある扉が映しだされ、その扉の前に立っているＨＩＤＥの後ろ姿の映像…。待望のプロモーションビデオが流れ出すと、歓声はさらに大きくなります。原宿ラフォーレの前にいた時点では、歓声で曲はまったく聞こえません（でもシングル買ってゆっくり聞けばいいもんね）。様々な格好をしたＨＩＤＥが歌っているシーンでは「あっ、あのＨＩＤＥちゃんがカッコイイ！」とか、「すごおおい！」とか、もう大変な騒ぎです…。ビデオが終了し、パフォーマンス中止の発表。さすがのＸフリークも雨には勝てなかったのですね…。ホコ天はその日の4：00に雨の為解除となっていたらしいですが、みんなそんな理由で納得しない様子。なかなかそこを動こうとしない人、嘆きながら駅へ向かう人…。私達ＦＣも、何度雨をうらめしいと思った事か…。（ファンの中には、てるてるぼうずを胸から下げている人もいました）警備にあたっている方々が、拡声器で整備を始めます。結局私達も空をニラみつけながら原宿を後にしたのでした…。

ROCKIN' PHOTO

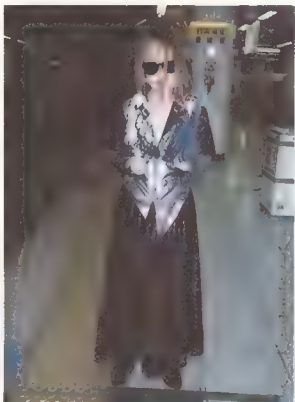
早くXに行きたい。そして、気合いいれて暴れてやるー！！うおー！
（紅蓮狂乱　東海支部／さん）

4／18のTOSHI'Sライブで撮ったものです。1人でおバカやってました。
（霊魔さん）

4／18、TOSHIさんのソロLIVEの時のPHOTOです。"一応"HIDEさん特攻服3人組です。この格好でHOTELに帰る途中、オマワリさんに声をかけられ質問ゼメに合ってしまいました（笑）。全国のファンの皆さん、"オマワリ怖くてコスプレ出来るか！"をモットーに気合い入れて頑張りましょう（笑）。
（亞危巳・魔婆夜・詩寿佳さん）

私の愛娘、小1のみどりが是非会報に載りたいとの事で…。私も親バカとは思いつつも、結構気に入った一枚です。みどりはこのカッコで8／25のFilm Gigに行くとハリきってます。
（Midorinさん）

2／20のTOSHIくんのコンサートで撮ったものです。私が撮り終わると、どっと何人かに"撮らせて下さい"ってせまられて（？）いました。だいじょうーぶでしたか（笑）。
（魅利さん）

このPHOTOは3／28に「運命共同体」というレーベルでイベントをした時のものです。この日は雨だったので東京ドームでやりました。とても楽しかったです。TOSHIくんに抱かれているのが私です。
（利三＆RAYさん）

コスプレするの初めてだったけど、ドレスも全部自分で作りました。
（X運命共同体／ちびっこYOSHIKI CLUB／麗樹さん）

ギターもHIDEモデルなんです。

HIDEをおそうTUSKの図。

COLLECTION

今回もたくさんの写真を送ってくれてどうもありがとうございました！ここで御注意。莫大な量の写真が送られて来てから、一旦全部ＦＣスタッフみんなで開封し、インパクトのあるものや、おもしろそうなもの等を頭を寄せ合って選んでいます。又、選ぶ際に、どこかのグループだけをひいきして掲載しているなんて事は絶対にありませんので、あしからず…。さぁ、次号の頃には、ＦＩＬＭ　ＧＩＧも真最中。さぞや気合いの入った写真が送られて来る事でしょう。スタッフみんな楽しみにしています！又、ＨＩＤＥのソロ・プロモーション・ビデオの中には、なんと１１種類ものＨＩＤＥちゃんが！どのＨＩＤＥちゃんに成りきってみますか？なんて、あおってみたりして…。（福島県の石黒華織さん！コメントは入ってましたが、写真が入ってませんでした（笑）。是非送って下さいね。）

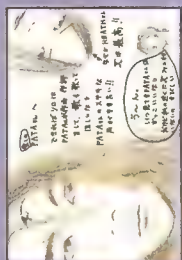
ＴＵＳＫとＳＵＧＩＺＯをやってる２人もＸのファンなんですよ。この日は４人でいろいろなＰＨＯＴＯ・ＳＥＳＳＩＯＮをしたんです。私はカメラマンをやっていたので写っていませんが、是非載せて下さい。
（不滅・林　こずえさん）

ドームで遊んだ時のＰＨＯＴＯです。ピンクい方が私です。ヤンキーではありません（笑）。
（刹那ＲＥＨ"蛇紅薇"＆秀羅）

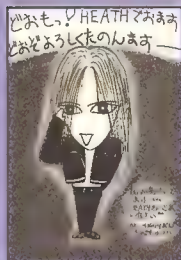
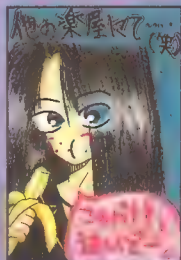
４／１８のＴＯＳＨＩくんのＬＩＶＥの時のＰＨＯＴＯです。ＬＩＶＥあとなので髪がボサッてますが…。気合い入れてコスプレして行きました。
（ＬＵＮＡ＆ＵＭＥ）

ＹＯＳＨＩＫＩ・ＨＥＡＴＨのコンビです。ＨＥＡＴＨさん、楽しみにしてます。
（白鳥優佳さん）

Ｘ　Ｆｉｌｍ　Ｇｉｇｓ、メンバー不在でもＬｉｖｅと同じ状態で気合い入れて暴れます！
（"無限"メンバーさん）

イラストファイル

岐阜県／
MADAYO.さん

北海道／「夜姫」さん

大阪府／「吉澤ゆかり」さん

群馬県／「伊達翠杏」さん

茨城県／大坪則子さん

埼玉県／「菊名真矢」さん

埼玉県／山岸　めぐみさん

和歌山県／
「よっちゃんじるし」さん

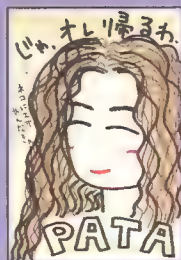
静岡県／「寿李」さん

島根県／松山絵里さん

大阪府／前川佳奈さん

北海道／太田早苗さん

京都府／「秀亞」さん

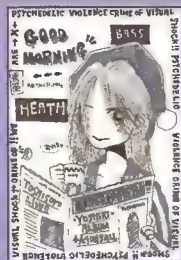
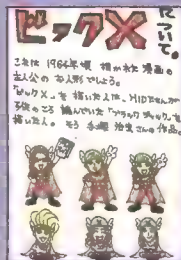
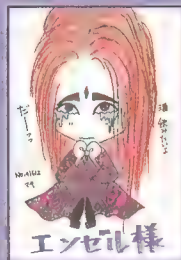
京都府／「秀亞」さん
その1

東京都／菅原　道子さん

石川県／「しゅうチャーン！キャー！」さん（笑）

「Yoshiki　eyes」さん

名古屋市／
「プリティーヒース」さん

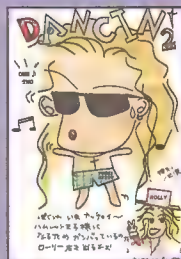
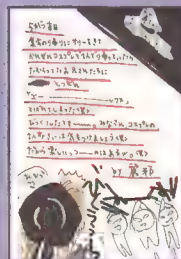
茨城県／村上友佳子さん

福岡県／瀬戸口征子さん
その2

京都府／「秀亞」さん
その2

神奈川県／前田さつきさん

兵庫県／「マキ」さん
その1

山形県／吉野朋子さん

茨城県／
「森博CHAN」さん

神戸市／桜井　恵さん

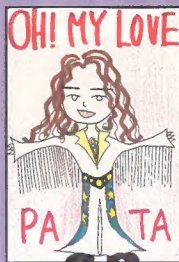
兵庫県／「みい」さん

東京都／大石千枝子さん

福岡県／「麗邪」さん

古林ゆみさん

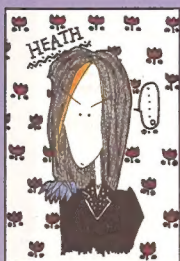
新しくサイズも大きくなったＸ－ＰＲＥＳＳ、いかがでしょうか？サイズが大きくなったということは、紙面も広くなったということで…。今までよりも少し多めにイラストを掲載しました。だって、ボツにするのが惜しい位、みんな絵がうまいんだもの…。送られてきたもの、全部載せたいですよ。ホントに…。みなさん、きっとお待ちかねでしょう、「”美しいよっちゃん”のイラストコーナー」なのですが、またまた来号になってしまいました…。別にイジワルしている訳ではありません…。必ず次号には、今度こそ掲載しますので、既にイラストを送られている方もがっかりしないで待ってて下さい…。そして、まだまだ募集しますので、絵に自信のある方、又、私はこんな風によっちゃんを表現してみました、なんて方はどんどんファンクラブに送って下さいね。

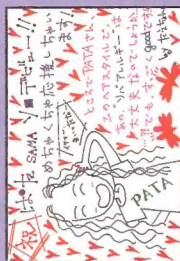
広島県／木下　香さん その２

滋賀県／小島清子さん

熊本県／宮里美佐江さん

岐阜県／「矢沢よし」さん

埼玉県／佐々仁美さん

茨城県／「風雅華音」さん

島根県／「ＨＩＤＥちゃんＬＯＶＥ」さん その１

茨城県／「みどりのセンス」さん

埼玉県／「たえちょん」さん

茨城県／山内幸子さん

広島県／木下　香さん その１

福岡県／「ＲＯＳＥ」さん

福岡県／瀬戸口征子さん その１

横浜市／「ひー」さん

札幌市／「出山なつき」さん

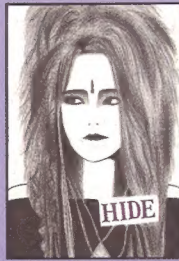
川崎市／松坂怜奈さん

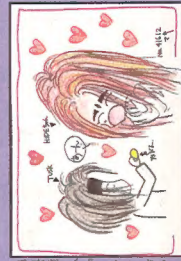
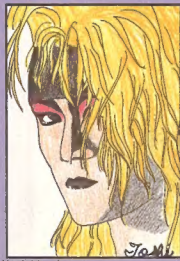
「秀嘉」さん

新潟県／佐藤恒子さん

岡山県／「げるげる」さん

岡山県／「ＡＩＮＥ」さん

埼玉県／渡辺明子さん

兵庫県／大塩有紀さん

茨城県／「がちゃみ」さん

兵庫県／「マキ」さん その２

岩手県／「ＴＯＳＨＩの八重歯」さん

東京都／「きらら」さん

島根県／「ＨＩＤＥｃｈａｎＬＯＶＥ」さん その２

岡山県／「じゃっくだにえる」さん

山梨県／河野美枝さん

X
FILM GIGS 1993

渋谷公会堂／追加公演・ファンクラブ会員優先予約受付

第１４号会報で告知し、優先予約を受け付けた「X FILM GIGS 1993」。その東京での公演にあたる渋谷公会堂での公演について、新たに１２：３０の上映が追加される事になりました。
チケットは下記の要領でお申込み出来ます。方法手順をよく読んで、申し込んで下さいね。

日時／平成５年８月１６日（月）１２：３０開演分
会場／東京・渋谷公会堂
金額／全席指定￥３０００

申込み方法

受付日時／平成５年７月１８日（日）
午前１１：００～午後６：００
（予定枚数がなくなり次第終了）

<受付方法／Ⓐ>

チケットぴあ店頭でのチケット受取希望者→Ｐコード予約（プッシュホンで御利用いただける音声自動応答の予約システムです。緑の公衆電話からでもＯＫ！）

受付電話番号
０３－５２３７－９９２２

メモを御用意の上、上記番号に電話して予約センターを呼び出して下さい。
あとは音声ガイダンスに従って数字と＃を入力すればＯＫ。

① Ｐコード ---------------------------
５００１１５＃

② 公演日 ---------------------------
０８１６＃

③ 昼夜コード ---------------------------
１＃

④ 席種 ---------------------------
１＃

⑤ 枚数 ---------------------------
＿＿＿＃

→あなたの希望枚数を入れて下さい。
お一人様４枚まで。

⑥ 電話番号 ---------------------------
＿＿＿＃

→あなたの連絡先の電話番号を、市外局番から入れて下さい。

⑦ 予約の確認 ---------------------------
＿＿＿＃

→チケットの予約内容を確認の後、引き取り期限、引き取りの際に必要な予約番号（９ケタ）をお知らせします。メモに控えてから、確認の為、予約番号を押していただきます。
・もう一度予約番号が聞きたい→０＃
・予約を取消したい→９＃

⑧ 予約完了！ ---------------------------
「予約が完了しました」のガイダンスが流れ、電話を切ってもＯＫ。
⑦で控えた予約番号を持って、引き取り期限までにチケットぴあのお店へ。

（注意）
＊チケットの受取はチケットぴあのお店で。
＊予約完了以前に電話が切れた場合は、申込みは無効となります。

<受付方法／Ⓑ>

「郵送」でのチケット受取希望者
（郵送手数料５００円）

受付電話番号
０３－５２３７－９９９９

メモを御用意の上、上記番号に電話し、オペレーターの指示に従って下さい。

業務連絡

(このページはみなさん必ず読んで下さい)

◇郵便物の未着について

ファンクラブではコンピューターでリストの管理をしています。発送の際には、条件に合う方の宛名シールを必ず全件プリントしますので、誰かだけ送らないという事はありません。X－PRESSやお知らせの発送に関しては、ファンクラブのインフォメーションテープにも入れておきます。こちらから発送後の届いた、届かないに関しての責任は負いかねますのでご了承下さい。もし「友達の会員の子には届いているのに、私には届いていない」なんていう時にはなるべく早く連絡を下さい。その場合の優先予約などの締め切りが過ぎていて申込みが出来なかった等に関しても、ファンクラブ・イベンター共に責任を負いかねますので、ご了承下さい。マンションやアパートなどは誤送されやすいので、ポストには名札や表札を必ず出しておいて下さい。建物自体に名前が出ていなかったりする時は一度、管轄の郵便局の方へ住所の確認に行っていただく事をおすすめします。

◇住所変更について

引越や区画整理の為に住所が変わったという方は必ずハガキでXファンクラブ「住所変更係」まで早めにお知らせ下さい。その際、あなたの会員番号と名前は必ず記入して下さい。会員番号が記入されていないと、せっかく出していただいた住所変更でも、コンピューターの検索が出来ないので住所の修正が出来ません。注意して下さい。それから、ファンクラブに住所変更のハガキを出す時に、郵便局にも転送届けを必ず出して下さい。１年間は新しい住所に転送してくれます。郵便事故を防ぐ為にも、必ず行って下さいね。

◇その他の郵便物、メンバー宛のプレゼントについて

毎日、メンバーへのファンレター・ファンクラブへのお手紙等が山の様に届きます。どうもありがとう。メンバーへのレターはちゃんと渡していますから、心配しないで送って下さい。ファンレターの宛名がどのメンバー宛てか、しっかり書いてあるものは開封せずに渡していますが、「Xファンクラブ」までしか宛名が書いてなかったり、封筒の裏に宛名を小さく書いてあったりすると気がつかないで開封してしまい、「ごめんね。」という事になりますので注意して下さい。さて、ファンレターですが、手紙の枚数が増えてしまった時、６２円では届かない場合があります。料金不足が非常に多いのでファンクラブはちょっと困っています。ポストに入れる前に料金を計ってみて下さい。メンバーからのプレゼントに関してのお願いです。体の心配をしてくれて、御守りや千羽鶴を送ってくれる人。気持ちはとても嬉しいのですが、御守りが何個もあり、神様同士がケンカしちゃうと困ってしまうので、気持ちだけ頂きます。申し訳ありませんが、送るのは御遠慮下さい。

◇会費の継続について

封筒の宛名シールのあなたの名前の下に、あなたの有効期限が記してあります。(例9306→1993年６月末日迄)。あなたの有効期限の月の末日（消印有効）までに次期会費￥４０００を振り込んで下さい。用紙は会報にとじ込んであるものを使用し、必要事項を記入して入金して下さい。会員番号などの記入漏れがあると、新規会員の処理となり、元の番号に戻す事はできなくなりますので御注意下さい。もし、期間中に何らかの理由で入金出来ないという方は、その月中にハガキでこちらまでお知らせ下さい。用紙を破いてしまったり、汚してしまったという方は郵便局に備え付けの振替用紙に以下の必要事項を記入して入金していただいても手続きはできます。

「用紙の表」

口座番号：東京０－１３１６００

加入者名：エクセス２４　Xファンクラブ

金額：４０００円

「用紙の裏の通信欄」

あなたの会員番号、氏名、有効期限（例：9306）

◇会員証について

カード型会員証は届いていますか？最初の年は黒、２年目は金、３年目はステンレスカードです。届いたカードの裏には各自、会員番号と名前を記入して下さい。継続のカードのお届けは、X－PRESSとは別発送です。有効期限の月の翌々月上旬の発送を目安にして下さい。

「ステンレスカードにキズがついてる」という方、ビニール袋から出して、カードの表面に貼ってあるビニールシートをはがしてみて下さい。はがしたのにキズがついてると言う方は「カードにキズが…」係りまで送り返して下さい。新しいカードを御送りします。

キーホルダーを使っていて壊れてしまったという方。壊れたキーホルダーと１２０円切手２枚を同封して送って下さればお取り替え致します。X－PRESSの製本ミスなどの場合も、お手紙を同封してこちらに送り返して下さい。

◇質問やクレームについて

質問やクレームのある方は電話かハガキ・封書で御願いします。郵送の場合は、返信が出来る形で（例えば往復ハガキ）送っていただけると、すごく助かります。

◇電話について

03-3794-6900

受付時間：月～金　13：00～18：00

（時間外はインフォメーションテープ）

03-3794-6919

２４時間インフォメーションテープ

こちらの電話番号は以上の２本だけです。これ以外の電話はこちらにはつながりません。御問い合わせはすべて上記の電話番号にお願いします。間違い電話が減らない様であれば、こちらの電話をすべて廃止せざるをえなくなってしまいます。電話番号はくれぐれも間違えない様、ゆっくりと正確に。もしも、万が一間違い電話をしてしまったら「すみません」と丁寧にあやまりましょう。

今年の梅雨は、あまりジメジメしなかったので楽でした。
でも、これから地獄の夏がやってくるのかと思うと、ゾッとしてしまいます。
事務所の引越も無事済みました。しばらくは、落ち着きそうもありませんが、頑張って整理しなくては。
ついこの間、POGOというバンドが解散してしまいました。
好きだっただけに、残念です。これからどうするのか、知らないけど、格好よくいてほしいです。

＜ｍａｅｄａ＞

今年の梅雨は、あまりジメジメしなかったので楽でした。
そして、これから大好きな夏がやってくるのかと思うと、ワクワクしてしまいます。
事務所の引越も無事済みました。でも私はこの会報の入稿だったのでなーんにもしてません（笑）。ごめんなさい。今回のLA取材では、現像トラブルであんな写真になってしまってゴメンナサイ。HIDEちゃんの取材の合間にカメラマンの辻　砂織さんと少しお話しが出来て、トラブッたカメラを見てもらったり、自分より前に私を出してくれたり、飾らないとても素敵な方だったのでカンドーしてしまいました。良い写真に規定は無いんだなー、自分で納得出来る様に、楽しく撮れればいいんだなー、ってとっても勉強になったりして。最近、大島暁美さんにしても、HIDEスタッフの小島さんにしても、仕事的にも人間的にもステキなおねーさま方が（失礼しました）沢山いてウレシーなっというカンジです。みんなにステキなXの素顔を伝えていく為に、カメラも文章ももっと勉強しなきゃな、と思う最近なのであります。

＜もっchang＞

Sullivan　1993年6月30日発行(毎月1回1日発行)増刊号第2巻6号通巻第10号　平成5年2月2日第三種郵便物認可　発行所　草隆社　〒113東京都文京区本郷4-1-1

¥850